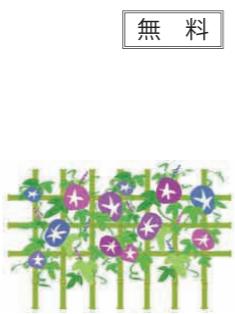


# こもれど



## 木洩童 2015年 夏号 vol.4

編集/発行: 東灘こどもカフェ  
〒658-0084 神戸市東灘区甲南町3-7-14  
城野ビル1階 / tel. 090-7701-6393

『こもれど』は英語で『仲間(Comrade)』をあらわします。

**地元と一体となつた活動**

2014年12月にオープンして以来約半年、こもれど淡路の活動は多岐に及んでいます。2

地元と一緒に活動するため、これまで多岐に及んでいます。2

2014年12月にオープンして以来約半年、こもれど淡路の活動は多岐に及んでいます。2

2014年12月にオープンして以来約半年、こもれど淡路の活動は多岐に及んでいます。2



東灘の団体「自由に使って」

### 民家活用、洲本に拠点

③地元の子どもたちの遊び場として積極的に開放し、畠もみんなの畠にして、昔の村のお

②5月に東灘の横屋会館で行った素淨瑠璃の会などの文化交流、ジャガイモ・タマネギなどの産直販売など交流の面を拡大する。

### ご利用について

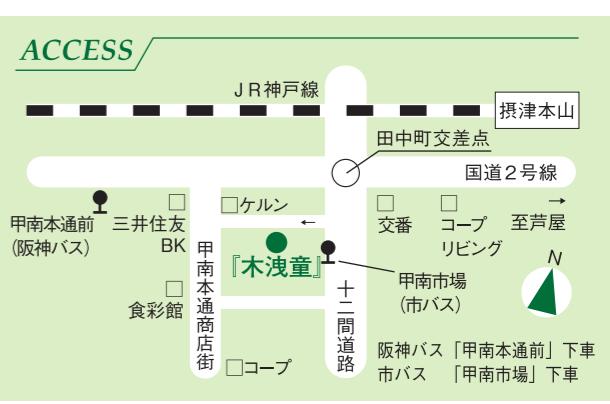
会員がいつでも利用できる滞在型フリースペースになつています。施設維持のため、6時間以降の休憩は一人300円、24時間以内は1,000円となっています。寝具や食事などに関するお問い合わせください。なお、当施設は「しみん基金こつべ」の助成金を得て運営しております。

寺のようなものにしていく。

④9月より、あわじFANクラブの新規事業として、こもれど淡路で「淡路移住を本気で応援する一泊二日研修」を毎月二回行う。これによつてこもれど淡路を淡路移住者の拠点のひとつに成長させる。

気が付けば前回の機関紙第3号を発行してから1年が経つてきました。年を取るにつれて時間の経過を早く感じるようになりました。東灘こどもカフェも、淡路交流館のオープンという新展開があり、その後も「なんでもお手伝いチーム」が法人化するなど目まぐるしく変化しつづけています。年を追うごとに元気に活動の場を拓げる東灘こどもカフェの今後に、これからも目が離せません。(まこと)

### 編集後記



## 活動の記録



新年お餅つき



恵方巻きづくり



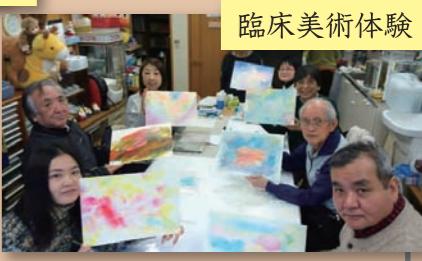
ちぎり絵講座



絵本講座



おやつ寺子屋



臨床美術体験



ハロウィン



クリスマス会



おもちゃ病院



季節をめでてる二水会



淡路淨瑠璃



朝カフェ



クリーンクルー作戦

### 「愉快で楽しい多世代交流」

東灘こどもカフェのご案内冊子が完成しました。誕生するまで、そして活動スタートから約4年間の紹介です。

1部¥500でお分けしています。

みんなで発展を願つて淡路島を第二のフルサトに!  
都市と田舎を結ぶ多世代交流

## こもれど淡路

### ホツとできるフルサト空間

三宮からバスで一時間、淡路島のちょうど真ん中＝洲本インター前バス停より徒歩10分、前はスーパー・コンビニから各種飲食店があり、後ろは淡路富士＝先山のふもとに拡がる豊かな田園地帯、そこに「こもれど淡路」は在ります。四季の花に彩られた約50坪の日本庭園、家の中は欄間のある6部屋の和室、庭に面した広縁、茶室付きの15畳のリビングなど、都会ではめったに手に入らない癒しとゆとりの空間が拡がります。のんびりとしたり、近所を散策したり、観光の足場にしたり、自由な時間を過ごして欲しい：そんな願いで開放しています。



月には畑を借りて、東灘こどもカフェのメンバーも太勢来島し、じゃがいもを植え付けました。5月の末に出来上がったじゃがいもの収穫祭を地元の子どもたちと東灘こどもカフェのメンバーなどで楽しめました。4月には洲本市役所と地元自治会などと一緒に街おこしワークショップを2回催しました。5月には東灘よりコーポともしび学に来島し、47名での大昼食会となりました。これらの活動はすべて地元のNPOあわじFAとNクラブとの連携で行つております。



東灘の団体「自由に使って」

③地元の子どもたちの遊び場として積極的に開放し、畠もみんなの畠にして、昔の村のお

②5月に東灘の横屋会館で行った素淨瑠璃の会などの文化交流、ジャガイモ・タマネギなどの産直販売など交流の面を拡大する。



今後の活動においては…

①みんなのフルサト・みんなの別荘をより拡め、健康と癒しと観光の利用を拡大する。

電話 : (090)7091-0609  
メール : 29518829@softbank.jp  
管理運営責任 林 秀行

民家活用、洲本に拠点

③地元の子どもたちの遊び場として積極的に開放し、畠もみんなの畠にして、昔の村のお

②5月に東灘の横屋会館で行った素淨瑠璃の会などの文化交流、ジャガイモ・タマネギなどの産直販売など交流の面を拡大する。

会員がいつでも利用できる滞在型フリースペースになつています。施設維持のため、6時間以上内は一人300円、24時間以内は1,000円となっています。寝具や食事などに関するお問い合わせください。なお、当施設は「しみん基金こつべ」の助成金を得て運営しております。

寺のようなものにしていく。

④9月より、あわじFANクラブの新規事業として、こもれど淡路で「淡路移住を本気で応援する一泊二日研修」を毎月二回行う。これによつてこもれど淡路を淡路移住者の拠点のひとつに成長させる。

【神戸新聞】2015年4月20日掲載